平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　株式会社ストライダーズ　　上場取引所　大
コード番号　9816　URL　http://www.striders.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 早川　良一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　兼　CFO　(氏名) 前田　嘉也　TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,193	56.7	△130	―	△97	―	△104	―
24年3月期第3四半期	761	△55.1	△187	―	△173	―	△112	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△75百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△101百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.40	―
24年3月期第3四半期	△1.51	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	1,726	1,109	62.7	14.55
24年3月期	1,746	1,184	66.4	15.60

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,081百万円　24年3月期　1,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,590	47.1	△133	―	△87	―	△98	―	△1.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	74,330,896 株	24年3月期	74,330,896 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	25,198 株	24年3月期	24,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	74,306,104 株	24年3月期3Q	74,307,194 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向がみられるものの、欧州債務危機の再燃、アジア近隣諸国の景気減速など、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、新たな収益源の獲得や新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方、人件費・外注費の削減等のコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高1,193百万円（前年同四半期比56.7％増）、営業損失130百万円（前年同四半期は営業損失187百万円）、経常損失97百万円（前年同四半期は経常損失173百万円）、四半期純損失104百万円（前年同四半期は四半期純損失112百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　ＩＴ関連事業

ＩＴ関連事業につきましては、主力取扱商品であった法人向けネットワークセキュリティ商品「SMART FILTER」の販売を、第２四半期連結会計期間末に終了いたしました。一方、前連結会計年度末に連結子会社に加わったモバイルリンク株式会社が行っている車載端末システムの受託開発は新規顧客獲得に向けて営業を行っております。また、新たに中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、新たな収益部門としてWebマーケティング分野でのサービスを開始いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間のＩＴ関連事業の売上高は198百万円（前年同四半期比236.8％増）、営業損失は14百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）となりました。

②　企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、長期化する景気の低迷や震災の影響等により、企業再生・再編の関連分野におけるニーズは引き続き高く、Ｍ＆Ａグローバル・パートナーズ株式会社は、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、Ｍ＆Ａに関するコンサルティング業務等、多様な案件に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は21百万円（前年同四半期比75.8％増）、営業損失は６百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）となりました。

③　不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工件数（貸家）は2012年１月から６カ月連続で前年同月比プラスで推移、７月以降も安定した着工件数を保っており、一定の回復傾向を見せておりますが、新規の管理受託が増加する一方で、サブリース契約での利鞘の減少や広告費等の増加、不動産ファンドや個人オーナーの物件売却に伴う解約の発生により管理戸数は伸び悩む等、厳しい環境が続いております。

このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。不動産仲介店舗において４～12月は閑散期であり売上が伸び悩んだものの、サブリース契約による新規の管理物件の獲得等により、当第３四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は835百万円（前年同四半期比21.0％増）、営業損失は18百万円（前年同四半期は営業損失４百万円）となりました。

④　食品関連事業

食品関連事業につきましては、第１四半期連結会計期間より新たに連結子会社となった有限会社増田製麺は、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンの製麺を主力とし、従来からの品質の維持に加え、業務の効率化やコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は114百万円、営業利益は７百万円となりました。食品関連事業の前年同四半期比については、第１四半期より開始した事業のため記載しておりません。

⑤　その他の事業

その他の事業につきましては、主にグローバル芸術家有限責任事業組合において現代美術家の絵画作品等に投資を行っておりますが、欧米および中国の美術品コレクターまたは投資家とグローバルな観点から連携し、展示会への出品により作品価値の向上を図ることにより、当ファンドの価値増加及び保有絵画のキャピタルゲインの獲得を目指してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は23百万円（前年同四半期の売上はありません）、営業利益は８百万円（前年同四半期は営業損失１百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は643百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が246百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が58百万円、無形固定資産が160百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は383百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主に未払金が62百万円増加したことによるものであります。固定負債は233百万円となり、前連結会計年度末に比べ２百万円減少いたしました。これは主に長期預り敷金保証金が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、617百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は1,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失104百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.7％（前連結会計年度末は66.4％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月９日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した有限会社増田製麺を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の事業予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,909	532,344
売掛金（純額）	78,183	60,371
たな卸資産	29,277	19,624
その他	50,826	31,321
流動資産合計	937,197	643,661
固定資産		
有形固定資産	22,839	81,057
無形固定資産		
のれん	369,786	531,454
その他	13,249	12,152
無形固定資産合計	383,035	543,607
投資その他の資産		
投資有価証券	350,177	406,460
その他	53,663	51,370
投資その他の資産合計	403,840	457,831
固定資産合計	809,716	1,082,495
資産合計	1,746,913	1,726,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,531	69,390
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
未払金	14,053	76,326
未払法人税等	11,255	3,667
賞与引当金	13,931	4,760
預り金	81,847	79,331
その他	82,677	94,457
流動負債合計	326,297	383,934
固定負債		
長期借入金	16,500	12,000
退職給付引当金	5,401	5,349
長期預り敷金保証金	213,814	200,579
繰延税金負債	－	15,244
固定負債合計	235,715	233,173
負債合計	562,012	617,107

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,406	1,314,406
利益剰余金	△149,061	△253,294
自己株式	△2,941	△2,955
株主資本合計	1,162,403	1,058,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,645	23,634
その他の包括利益累計額合計	△2,645	23,634
少数株主持分	25,142	27,258
純資産合計	1,184,900	1,109,048
負債純資産合計	1,746,913	1,726,156

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	761,458	1,193,260
売上原価	562,350	880,857
売上総利益	199,108	312,402
販売費及び一般管理費	386,606	442,615
営業損失（△）	△187,498	△130,213
営業外収益		
受取利息	1,757	422
受取配当金	26,520	25,115
受取手数料	4,612	3,539
償却債権取立益	1,948	－
為替差益	－	2,332
貸倒引当金戻入額	3,898	304
その他	4,898	4,515
営業外収益合計	43,636	36,230
営業外費用		
支払利息	901	888
債権売却損	10,501	－
為替差損	18,359	－
雑損失	－	2,725
営業外費用合計	29,762	3,614
経常損失（△）	△173,624	△97,597
特別利益		
関係会社株式売却益	11,731	－
特別利益合計	11,731	－
特別損失		
固定資産除却損	741	1,449
特別損失合計	741	1,449
税金等調整前四半期純損失（△）	△162,634	△99,046
法人税、住民税及び事業税	1,244	3,071
法人税等調整額	△51,404	－
法人税等合計	△50,160	3,071
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△112,473	△102,118
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△34	2,115
四半期純損失（△）	△112,439	△104,233

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△112,473	△102,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,581	26,279
為替換算調整勘定	45,173	－
その他の包括利益合計	10,591	26,279
四半期包括利益	△101,882	△75,838
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,847	△77,953
少数株主に係る四半期包括利益	△34	2,115

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	59,001	12,400	690,057	－	761,458	－	761,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	59,001	12,400	690,057	－	761,458	－	761,458
セグメント利益又は損失（△）	△32,249	△24,066	△4,742	△1,259	△62,317	△125,180	△187,498

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△125,180千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業	食品関連事業	その他の事業			
売上高								
外部顧客への売上高	198,685	21,800	835,306	114,237	23,229	1,193,260	－	1,193,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	198,685	21,800	835,306	114,237	23,229	1,193,260	－	1,193,260
セグメント利益又は損失（△）	△14,566	△6,155	△18,248	7,938	8,515	△22,516	△107,696	△130,213

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△107,696千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報
第１四半期連結会計期間において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受けました。また、有限会社増田製麺の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これらにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ＩＴ関

連事業」において94,390千円、「食品関連事業」において224,126千円増加しております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、有限会社増田製麺を連結子会社にしたことに伴い、同社が営む製麺事業を「食品関連事業」として、新たに報告セグメントの区分に追加いたしました。

また、第１四半期連結会計期間より、「ＩＴ関連事業」において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、Ｗｅｂサイト運営によるマーケティングソリューションを行っております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。